

## B-1 ボッチャ

概要	仲間と協力して、パラスポーツ（ボッチャ）に挑戦する活動			
ねらい	自然に親しむ	仲間づくり・協調性	課題克服・達成感	
		○	○	
	歴史文化に親しむ	知識	創意・工夫	
条件	場所	体育館、講堂、プレイホール 等 ※体育館4セット分、講堂3セット分 プレイホール3セット分が目安	対象	小学生以上
	時間	1～2時間程度	人数	108名（1チーム6名推奨） ※道具9セット分
	時期	通年	天候	全天候実施可
準備物	センターが貸し出すもの		団体が準備するもの	
	<input type="checkbox"/> ボッチャセット（全9セット）		<input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 対戦表等	
展開	<p><b>1 事前（当日までの準備）</b> → 各団体が行います。  (1) ルール等を確認し、実施方法を決定する。  →対戦の仕方（対戦表）、審判等の役割分担、ゲームの進め方  (2) 活動グループの組分けを行う。</p> <p><b>2 活動（当日の流れ）</b>  (1) 実施会場の設定、準備 → 各団体が行います。  (2) ルールの説明、諸注意  →希望があれば、センター職員が行います。  (3) 「ボッチャ」の実施 → 各団体が行います。  （社教センタールールについては、別紙参照）  ①先攻後攻を決めます。  ②先攻チームはまず、「ジャックボール」を投げます。  ③続けて、「ジャックボール」に目がけて、自ボールを投げます。  ④以下、交互に投げ合ったら、1エンド終了です。  ⑤自ボールをジャックボールに近づけたほうが勝ちです。  ⑥1ゲーム、3～6エンド程度繰り返し、合計点で勝敗を決める。  ※あくまで、1例です。  ※適宜、作戦タイム（振り返り）をすると、より「仲間づくり」の効果が高まります。</p> <p><b>3 事後（片付け）</b>  (1) 用具の片付け  (2) 結果発表、振り返り  (3) 道具の返却、終了の報告</p>			
実施の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紹介しているルールやゲームの進め方については、簡易的なものに変えています。実際のルールについては、それぞれ事前に調べて実施してください。</li> <li>○ 利用団体で、研修者の実態に合わせた独自のルールで工夫して進めても構いません。</li> <li>○ 道具については、大切に扱ってください。</li> </ul>			

## B-1 ボッチャ資料



↑ 審判セット



↑ ジャックボール(白)

～ボッチャセット～

白ボール(ジャックボール) 1球

赤ボール 6球

青ボール 6球

※このセットが計6セットあります。

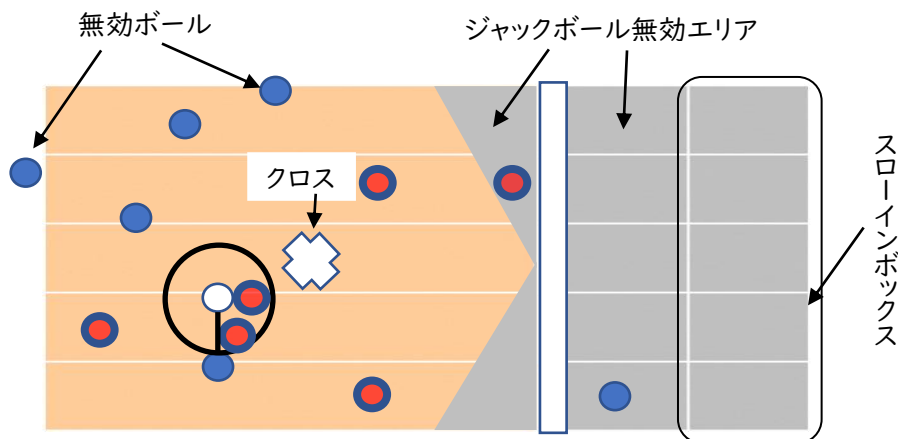
### (ボッチャの進め方)

- ① 先攻、後攻を決めます。
- ② 先攻チームがジャックボールを投げて、スタートします。
- ③ 続けて、先攻チームがジャックボールめがけて、ボールを投げます。
- ④ 次に後攻チームがボールを投げます。
- ⑤ 交互に投げ合っ、全球投げ合ったら1エンド終了です。
- ⑥ ジャックボールに近いほうが勝ちです。負けたチームのボールで一番近いボールの内側に勝ったチームがいくつあるかで得点が決まります。

### (その他のルール)

- ・ 相手のボールやジャックボールにボールを当てても良い。
- ・ コートからボールが出たら、得点に数えることができない。
- ・ ジャックボールがコートから出た場合は、クロス位置に戻してゲームを再開する。

### (得点のつけ方)



- ① 双方のチームの最もジャックボールに近いボールを比較し、どちらが近いかを判定する。(図の場合は赤。)
- ② ジャックボールに遠かった方のチーム(図では青)のジャックボールに一番近いボールとジャックボールを結んだ線を半径とし、ジャックボールを中心とした円を描く。
- ③ その円の中に何個ボールがあるかを数え、その数が得点となる。(図の場合は、赤の2点となる。)
- ④ ①がまったく等距離のときのみ得点が1対1となる。

※ 上記のルールは、社教センターが設定した簡易的なルールです。公式のルールとは、大きく違いがあります。